広島県議会議員　2024年冬期号 ――― [広島市西区版]

ふくち基弘

県政だよりvol.95

INDEX

- 総額305億円の補正予算等が成立
- 「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」を集中審議
- 文教委員会の活動
- 知事に対し要望書を提出

http://ameblo.jp/fukuchi-motohiro/

連絡先 ： ふくち基弘事務所
広島県広島市西区己斐上2-36-7
電話/FAX 082-271-5369

総額305億円の補正予算等が成立

12月議会中の文教委員会で質疑を行うふくち基弘

能登半島地震の被災者の皆様にお悔やみとお見舞いを申し上げます。2023年12月7日から19日までの日程で広島県議会12月定例会が開かれました。物価高騰や人手不足等への対応、気象災害への対応等、総額305億円の補正予算等について審議の結果、可決成立しました。さらに、9月定例会から継続審査としていた「令和4年度決算」について認定されました。また、「イスラエル・パレスチナの武力闘争の平和的解決を求める決議」や「帯状疱疹ワクチンへの助成並びに定期接種化を求める意見書」を採択しました。

令和5年度12月補正予算の主な内容

中小企業等からニーズの高い、伴走支援型特別資金の融資枠を拡大し、長期・低利の資金繰りを支援……45．6億円

特別高圧契約により電気を使用する県内中小事業者等に対し電気料金高騰の影響額の一部を支援……11．8億円

家庭業務用LPガスを使用している県内の一般家庭や中小企業等に対し料金高騰の影響額の一部を支援……10．8億円

エネルギー価格に左右されにくい事業構造への転換や人手不足への対応などに取り組む事業者への支援……17．8億円

令和3年7月・8月豪雨災害等からの復旧・復興を加速するとともに、防災・減災対策等を着実に推進……153．6億円

県人事委員会の勧告を踏まえて給料表の改定等を実施……35．5億円　etc.

12月定例会における主な質問内容

柿本忠則議員（広島市東区）

（質問） 二葉の里地区の新病院建設にあたっては、建設予定地周辺における交通規制等の変更などのほか、広島駅南北に係る道路や駅南側地区全体の交通状況についても検討していく必要があると考えるが、どうか。

（答弁） 新病院の整備に当たっては、来院者の動線や救急搬送ルートの確保など、ストレスなくアクセスできる環境の整備が必要。今後の駅周辺の開発状況も踏まえながら、適宜、交通量の再調査を行い、その調査結果に基づき、広島市や広島東警察署など関係機関とも連携をしながら、交通渋滞の抑制に向けた環境を整備してまいりたい。

的場豊議員（福山市）

（質問） 難病患者や障がい者の「親なき後問題」について、生活の場としての県立ケアホームの整備、専門病床の確保、民間高齢者施設等が対応居室を整備する際の経費補助など、施策として取り組むべきではないか。

（答弁） 重度障がい者や難病患者に対応した高齢者・障害者施設の整備については、地域の実情に応じて市町が計画する取組に対し、地域医療介護総合確保基金等を活用して支援することとしている。今後とも、難病患者や重度障がい者の御本人やその御家族に、安心して暮らしていただけるよう、市町や関係機関と連携して取組を進めていく。

「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」を集中審議

12月15日に開催された文教委員会で「今後の県立高等学校の在り方に係る基本計画」について集中審議が行われました。県教育委員会では、主体的な学びを促す教育活動を推進していますが、広島県高等学校生徒質問紙調査の質問に対し、自分から進んで勉強すると答えた回答割合は50%に達していないことから、数値目標を設定して取り組んではどうかと提案しました。また同調査で、授業では少人数で学習した方がよくわかる、に全体で7割程度があてはまると回答しており、生徒一人一人の学習進度や能力、関心等に応じた、「個別最適な学び」を提供するよう、少人数学級に向けてさらなる取組を求めました。

文教委員会の活動

10月から12月にかけて開かれた文教委員会で質疑を行いました。その中で、県立高校において膨大な量の個人情報を含む文書を紛失したことへの受け止めや対応を質すとともに、若者の低投票率を受けて主権者教育の取組を推進するよう求めました。さらに、子どもの食物アレルギーが増えておりアナフィラキシーを起こすケースもあることから実態把握や訓練・研修を求めるとともに、大麻など薬物乱用防止について県内大学での取組や大学生ヤング乱用防止指導員の周知・育成を求めました。

文教委員会で現地調査

10月4日～6日の日程で、オリィ研究所やダイアログ・ダイバーシティミュージアムの障がい児・者に対する理解を深める取組について、また、広尾学園・聖徳学園・中央大学付属中高の先進的な教育の取組などを調査しました。

知事に対し要望書を提出

会派「民主県政会」として、「2024年度当初予算編成等に関する要望書」を湯崎知事に提出し、意見交換を行いました。

2024年度当初予算編成等に関する要望項目

● 経済低迷などリスク対応も行いつつ、県政発展に必要な施策を安定して推進できるよう中期財政運営方針を確実に推進すること。

● カスタマーハラスメントが深刻になってきており、倫理的な消費者行動の促進に向けた消費者教育についても強化を行うこと。

● 介護従事者の確保に向け、養成、離職防止、再就業などの取組を継続すること。特に、処遇改善などの各種補助は更に強化すること。

● 教員業務支援員であるスクール・サポート・スタッフは、必要な現場に適正に配置されるよう予算措置及び人員確保に努めること。

● 広島市中心部等の慢性的な渋滞緩和及び災害などの緊急時に備えた代替性を考慮し、都市圏の幹線道路網の整備を加速すること。

など164項目